

アルツハイマーに立ち向かう

知っておくべきこと

アルツハイマー病 (AD) は、記憶、思考、行動に影響を及ぼす認知症の一種です。最も一般的な認知症の形態で、女性や有色人種地域で発症しやすいとされています。一般的に65歳以上の高齢者に診断されることが多い病気です。

アルツハイマー： カリフォルニア州民が知っておくべきこと

アルツハイマー病は、カリフォルニア州における死因の第2位です。

アルツハイマー病と関連する認知症を患うカリフォルニア州住民の数は、2019年から2040年にかけて**倍増すると予想**されています。

カリフォルニア州の65歳以上のベビーブーマー世代のうち、**6人に1人**がアルツハイマー病 (AD) を発症し、**5人に1人**が認知症を発症すると言われています。

注意すべき主な兆候

記憶障害、物忘れが起こる
計画を立てたり、問題を解決したりするのが難しくなる
家庭、職場、レジャーの場で手慣れた仕事をこなすのが難しくなる
時間や場所を混乱する
視空間の認知障害



会話中または文章を書いている際に、言葉を間違えたり、言葉が出てこない
物を置き忘れたり、手順を思い出したりできない
判断力の低下
仕事や社会的な活動から引きこもる
感情や人格の変化

数字で見る アルツハイマー病

アルツハイマー病 (AD) は、全認知症の6割から8割を占めます。

米国の65歳以上のAD患者560万人のうち、約350万人が女性、210万人が男性であると推定されています。

あなたや知人にアルツハイマー病の兆候がある場合は、医師または医療専門家に連絡してください。

アルツハイマー病の詳細と、あなた自身とあなたの大切な人を守るためにあなたができることについては、[TakeOnALZ.com](https://www.TakeOnALZ.com)をご覧ください。

